No.31

京都外国語大学校友会会報

KYOTO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

ALUMNI NEWS



京都外国語大学校友会

No.31
ALUMNI NEWS

CONTENTS

01 会長挨拶　京都外国語大学校友会 会長　島谷直見
02 総長挨拶　学校法人 京都外国語大学 理事長・総長　森田嘉一
03 学長挨拶　京都外国語大学・京都外国語短期大学 学長　松田　武
04 寄稿文　浅尾耕三／金城　実
05 山本美砂／中島恵美
06 祝「校友会奨学金授与」慶びの声　外国人留学生給費奨学生
07 「輝く星となる」奨学生／校友会創立55周年総会のお知らせ
08 在学生からのメッセージ
11 支部・クラブ・学科OB会だより
11 滋賀支部／沖縄支部
12 和歌山支部／東京支部／福井支部／徳島支部
13 兵庫支部／福岡支部／Club Hat's／教志会
14 上海支部／韓国支部／メキシコ支部／ブラジル支部
15 剣道部／海外事情研究会／ソフトテニス部／硬式庭球部
16 卓球部／空手道部／自然科学研究会／ＦＧＣ
17 能楽部／ローターアクトクラブ／貿易研究会／スカウトクラブ
18 陸上競技部／フランス語学科50周年
18 大学創立70周年と新４号館改築のお知らせ／熊本地震義援金送付のお知らせ
19 第28回総長杯ゴルフコンペに参加して／第57回外大祭模擬店報告
20 平成27年度　校友会事業報告、会計報告
21 平成28年度　校友会事業計画／校友会役員／常任幹事／支部連絡先

京都写真散策 KYOTO PHOTO WALK

写真・文
アートディレクター
林　孝弘（s40年度英米語学科卒）



表紙：鴨川と比叡山

「鴨川と比叡山」

鴨川の淵瀬変われど永久なれや…で始まる歌といえば
そう、卒業生なら誰もが知っている学歌。
その鴨川、下鴨神社の南、出町で北東から流れ込んでくる高野川と合流し
鴨川と名前を変えるのであるが、合流地点より上流は賀茂川と呼ぶ。
京都市歌にも「あおぐ山々うるわしく、ながるる加茂の水清し…」と歌われている。
そのあおぐ山々、東山三十六峰は南北12kmの山地の総称で、比叡山はその一番北に位置し
市内から仰ぐ雄姿は「山は叡山、川は鴨川」と昔から言われるように
標高約848mの、愛宕山（924m）に次ぐ京都で二番目に高い美しい姿の山である。
「鴨川と比叡山」はまさに山紫水明の都にふさわしい景色なのだ。
比叡山といえば昨年の秋、孫を連れて登ったことがある。
登ったといっても麓の八瀬からケーブルとロープウエイを乗り継いでであるが。
子供の時、父に連れられて登った頃といえば、いま時の何とかランドとは程遠い粗末な遊園地があっただけ、
それでも一日中飽きもせず遊んだものだ。そんな山頂にも今では立派なリゾートホテルや
ガーデンミュージアムができ、近くにユネスコ世界文化遺産の延暦寺もあるので、
多くの外国人観光客で賑わっているのには驚いた。
下山するケーブルを待つ時、外国人に混じって並ぶそんな状況を、昔父に連れられて登った時には想像もしなかったことである。



MESSAGE from Naomi Shimatani

こころをむすぶ

京都外国語大学校友会
会　長　島谷　直見

校友会の皆様、平素は校友会活動に深いご理解とご協力を賜りまして、誠に有難うございます。

平成29年度、京都外国語大学は創立70周年そして校友会は創立55周年という素晴らしい祝年を迎えます。今年はこの佳年へ向けて校友会の皆様と共に心を合わせて準備する大切な年であると思っています。

昨年の4月に新体制がスタート致しまして、はや一年余りが過ぎました。私自身、様々な行事を体験させて頂く中で、校友会のスローガン「人とひと、心とこころをむすぶ」の言葉の深さを、身を以て感じる毎日です。

長い人生に於きましては、大学生活は本当に短いものです。しかし、短くとも、その輝き、その深さ、その拡がりは何にも勝るものであり、私たち卒業生にとりましては、どのような時も、心を支えてくれる大切な宝物であると思っています。それ故、校友会は、皆様の大学生活の思い出を、いついつまでも大切にし、さらにより素晴らしいものへと育ててゆく会として存在すべきものであると思います。

校友会は昨年の10月に滋賀支部、今年の5月に沖縄支部が誕生し、国内16支部、海外7支部となりました。

国内外で開催されました各支部総会・懇親会に出席させて頂き、各々の支部が、魅力溢れる支部活動を目指し、一人でも多くの皆様の参加を願い、交流を深める姿に、校友会の基本の心の大切さを改めて感じました。

また、在学生のクラブ活動参加が減少する中、各クラブOB会の活動は校友会にとりましてかけがえのないものであると思っています。

大学は70周年記念事業の一環として、4号館の建て直し工事に入っています。また、国内外への新たな挑戦と活動を繰り広げ、「京都外国語大学」の名を世界へとアピールする努力をされています。

大学、校友会共に迎える祝年を前にして、私たち卒業生は、今以上に『心一つとなり、誇りある校友会』を目指しながら、大学への強い協力と応援の輪を拡げていかなければなりません。

校友会の皆様、今後とも、より深く温かいご理解とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。







「大学・校友会　こころをむすぶ」（交流会）



MESSAGE from Yoshikazu Morita

情熱を失わない

学校法人　京都外国語大学
理事長・総長　森田　嘉一

まずもって、校友会会員皆様の母校への変わらぬご厚情にたいし、心から感謝申し上げます。引き続き、本学園発展のため、より一層のご理解とご協力を賜りたく存じます。併せて、校友会の益々のご繁栄並びに会員皆様のご活躍を衷心よりお祈り申し上げます。

温故知新、人は昔のことをたずね求めて、そこから新しい知識・見解を導き出します。本学園は来年2017年に創立70周年を迎えます。明日への一歩を踏み出すために、いま一度、創立者の決意に思いを馳せ、情熱の一端に触れ、本学の始まりを再確認し、節目のスタートにしたいと思います。

本学園は1947年5月に森田一郎・倭文子によって建学されました。終戦直後の国土・人心は荒廃し、生活も極度の窮乏と混乱のなかにあり、教育もまた機能を停止し、すべては危機的な状況を呈していたのです。そのような時に、なぜ、一郎と倭文子は京都で外国語を始めたのか。それまで東京で数学を教えていた一郎が、なぜ、京都で外国語の教育を手がけることになったのか。答えは一郎と倭文子の新しい日本を支える人物の育成という大きな志によるものであったのです。軍事力では外国とのトラブルを解決できず、敗戦という結果になった。その痛みと苦しみのなかで、建学の精神「言語を通して世界の平和を」の基となる理念を見出したのです。平和に外国と交際するとき、相互に意思を伝え合うコミュニケーションが鍵を握る。違いを認め合い、相互理解するには、まずは語学を身につけることから始めなければならない。こうして一郎と倭文子は、外国語教育のために私財を投じるという決意をしたのです。しかし、二人の目標は「社会が必要とする総合学園」の建設であり、教育はあくまでも社会とともになければならないと考えていたのです。二人の活動範囲は学校という教育現場だけにとどまらず、国内外、広く外の社会にまで向けられていったのです。

宗教家であり評論家であった内村鑑三に「進め」という文章があります。その中の一節に、「進め、何処までも進め、前途を危惧せずして進め、一歓喜と満足は前にあって後ろに有らず、臆病者に平和あるなし、進め、何処までも進め」と説いています。まさに「アクションなきところにリアクションなし」というわけであります。そして私は卒業生の皆様にも、いろいろなことにトライして挫折して突破して自分の夢をつかむことの喜びを、たとえ年を重ねても諦めずに幾度も味わってほしいと願っております。若さとは年齢を言うのではなく、いつまでも情熱を失わないことだと思うからであります。

皆様のご活躍は母校の発展であり、母校の発展はまた卒業生の誇りとなるものであります。校友会会員皆様の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



MESSAGE from Takeshi Matsuda

未来を見つめる大学

京都外国語大学
京都外国語短期大学
学長　松田　武

京都外国語大学校友会会員の皆様には、日頃より母校への深いご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

本学園は、1947年に京都外国語学校として創立し、2017年５月をもちまして、創立70周年という大きな節目を迎えます。京都外国語大学ならびに京都外国語短期大学は、これまでに約50,000名もの卒業生をここ京都の地から社会へ送り出してまいりました。卒業生の皆様の各方面での華々しいご活躍は本学にとっての大きな誇りであり、この上ない喜びでございます。

さて、科学技術の発展により、ますますグローバル化が加速する中、私たちには多様な言語圏の人々と協働する力が求められております。本学は、建学の精神「PAX MUNDI PER LINGUAS―言語を通して世界の平和を―」のもと、創立時から今日に至るまで、グローバル人材の育成に尽力し、人類共通の使命である世界平和の実現に努めてまいりました。

人々の平和に対する意識は年々高まっていますが、いまだに記憶に新しい2015年11月に発生したフランス・パリ同時多発テロ事件のように、世界の各地では今もなお異文化摩擦や利害の対立などによる紛争や内戦、そしてそれらが残した大きな爪痕に苦しむ人々が多く存在しています。この厳しい現実を目の当たりにする時、私たちは持続可能な世界の平和の実現は困難であるように思えます。しかし、個々人が地球市民としての当事者意識を持つことで、必ずや真の世界平和に近づくと私は考えております。

学生一人ひとりが、本学での学びを通して、国際社会の一員としての責任を自覚し、教養豊かな魅力ある人間として力強く生きていくための素養を身につけ、卒業時には謙虚さと積極性、豊かな人間性と外国語運用力を兼ね備えた人材として社会へとはばたけるよう、これからも教職員が一丸となって不断に教育内容や方法等の改革に取り組んでまいる所存です。そのためには、大学、在学生、そして卒業生の皆様方との結びつきを一層強固なものにしていくことが必要不可欠でございます。

本学が世界の平和に貢献する「未来志向の大学」として社会的使命を全うするために、校友会会員の皆様にはさらなるご理解とご支援を賜りますようお願いするとともに、校友会会員の皆様のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



「京都外大マレーシア・ペナンキャンパス」開所式にて



フライトの想い出

浅尾　耕三　s45 年度英米語学科



楽しかった学生時代の思い出を胸に、S46年春、パイロット訓練生としてANAに入社しました。

空を飛んでいて怖かった事はと、水割り片手によく聞かれます。実は私はエンジン停止経験とUSA同時多発テロに遭遇した希な機長なのです。

2001年9月11日、静かな太平洋上を飛行中、突然の全米空港閉鎖情報に空は大騒ぎとなった。既にリターン不可能な位置だったのでバンクーバーへ緊急着陸することを決断したのです。到着後、大混乱の空港を抜け出て深夜ホテルに。そこでの信じ難いテレビ映像には我が目を疑ってしまいました。困った人を一生懸命助ける程心優しい性質の人間が、一方では神の許す筈のない大量殺戮をいとも簡単に実行したのです。

重い足取りの帰路、またまた成田は深い霧の中、だが日頃鍛えた高度な計器進入技法で平和な国へ無事着陸できました。

後日談ですが、同日唯一UA機が閉鎖の筈のハワイへ着陸、クルーはカクテル片手にワイキキの夜を満喫したとか。残念!!

それでは皆様とワイン片手にお話しできる事を心待ちしています。

PROFILE ／浅尾耕三（あさお・こうぞう）

1962年　岡山藤田中学校卒業、自衛隊少年工科学校（少年自衛官）入校
1964年　同学校中退、岡山関西高校入学
1967年　同高校卒業、京都外国語大学入学
1971年　同大学卒業、パイロット訓練生としてANA入社
1974年　YS11機、副操縦士発令
1986年　ロッキードトライスター機、機長昇格
2007年　ANA定年退職、エアードゥ入社
2012年　同定年退社（65歳）



外大に感謝！

金城　実　s39 年度英米語学科



当時、沖縄は米軍支配下にあり渡航にはパスポートが義務でした。最初は東京での大学を試みるも2年かけても不合格。逆にこれが彫刻家の運命を決めます。ロダンの作品との出会い。かろうじて外大に合格したものの、学習意欲を失います。2回生で休学、沖縄米軍基地にて1年アルバイト。卒業までに6年。ところがその体験で小説二つを書き、ルポ4冊、中央の書籍に投稿、文筆と彫刻といった二つのワラジを履くことになります。フランスでの個展2回。沖縄戦をテーマとした3ｍ×134ｍ―「戦争と人間」を完成。外大時代をふりかえると、卒業ぎりぎりまで体育の単位不良で京都アリーナでのアイス・スケートで特別授業。しかし卒業式には出席認められずに証書受けとりは、５月の連休明けです。その時の森田先生の私への言葉が忘れられない。「金城君、沖縄か、沖縄の状況大変だね。卒業証書はみんなと同じ、日付け、胸を張って世に出ろよ！」

今でもその言葉が心に刻まれて、沖縄を生きています。

PROFILE ／金城　実（きんじょう・みのる）　彫刻家

1939年　沖縄県浜比嘉島に生まれる。
1958年　琉球政府立前原高等学校卒業。
1965年　京都外国語大学卒業。1971年、京都外国語大学専攻科卒業。大学卒業後大阪市立天王寺夜間中学校、西宮市立西宮西高等学校、近畿大学付属高等学校などの講師をつとめながら彫刻制作に従事。
1970年末～1972年　自作彫刻作品を携えて、反戦・反核の全国キャラバンに出る。
1994年　沖縄に帰り読谷村に在住し、彫刻制作に専念。

〈主な作品〉
・「残波大獅子」（1986年）「長崎平和の母子像」（1987年、長崎爆震地）
・「チビチリガマ世代を結ぶ平和の像」（1987年）
・「恨の碑」（2000年、韓国）。

〈主な著書〉
・『土の笑い』（筑摩書房）、『神々の笑い』（径書房）、『ミッチアマヤーおじさん』（宇多出版企画）、『沖縄を彫る』（現代書館）他。



旅行者のために、どんな扉も開けて差し上げましょう!
コンシェルジュの魔法の鍵

山本　美砂　h13 年度英米語学科

日本ではまだ認識が浅い職業ですが、その歴史は古く、中世ヨーロッパの城や牢獄、修道院などの鍵を司る門番が語源だといわれます。コンシェルジュには“レ・クレドール”という名の国際ネットワーク組織があり、世界中のコンシェルジュが知恵を出し合い、お互いのお客様をサポートしています。多様化するお客様のご要望への対応は、時に国境を越えた手配に至ります。一人では出来ることに限りがありますが、国内外の仲間と協力することで最大限にその力を発揮し、不可能を可能にできるのです。レ・クレドールのコンシェルジュがつける襟章は金色の



鍵をかたどっており、それは「旅行者のために、どんな扉も開けて差し上げましょう」という意味を示します。私はこの仕事を誇りに思い、襟に光る鍵の重みを感じながら、今日もロビーでお客様をお迎えしています。



PROFILE ／山本美砂（やまもと・みさ）
ホテルグランヴィア京都　営業推進室 接遇グループ
担当マネージャー　チーフコンシェルジュ

2002年　英米語学科卒業
2002年　株式会社ジェイアール西日本ホテル開発（ホテルグランヴィア京都）入社
2007年　日本コンシェルジュ協会　運営委員就任
2007年　レ・クレドール ジャパン準会員
2010年　レ・クレドール ジャパン正会員
2011年　『京都旅行はコンシェルジュにおまかせ』（淡交社）監修

※レ・クレドール（Les Clefs d'Or）：1929年10月 6 日、フランスにて発足した国際的なコンシェルジュのネットワーク組織。世界44の国と地域に約 3,500 名の会員が在籍（2013年４月）



経験を活かせる日々

中島　恵美　h20 年度中国語学科

私は大学卒業後、成田空港でANAグランドスタッフとして働いています。国際線の旅客ハンドリング業務に携わっており日本語はもちろん英語、中国語を毎日使っています。

しかし、空港にいるお客様全員が公用語と呼ばれる英語を話せるわけではありません。時にジェスチャーであったり、絵を描いてみたり、周りのお客様に通訳を依頼して助けて頂くこともあります。様々な手段を使ってお客様とコミュニケーションをとっています。大学２年目で北京語言大学に留学し、ほとんど中国語を話せなかった自分が周囲に意見を



伝えるときの経験が活きているなと感じます。

多国籍のお客様と関わることは大変ではありますが、「ありがとう」の言葉を頂けた時はやりがいに繋がる瞬間です。



現在の仕事を通じて、語学力とコミュニケーション能力はどの仕事に就いても大切な基礎となる部分だと感じます。在学中に様々なことを経験し、大学が将来やりたいことに繋がる道を見つけられる場所であってほしいと思います。

PROFILE ／中島恵美（なかじま・えみ）

2005年４月　京都外国語大学 外国語学部 中国語学科 入学
2006年９月　北京語言大学へ約半年留学
2009年３月　京都外国語大学 外国語学部 中国語学科 卒業
2009年６月　ANA エアサービス東京（現 ANA 成田エアポートサービス）入社。受託外航、ANA 国際線担当

祝「校友会奨学金授与」慶びの声

外国人留学生給費奨学生（平成27年度）

●外国語学部





奨学生に選んで頂き、有難うございます。
私は大学で日本語を勉強しています。日本語は、私と日本をしっかりと結びつけ、私の人生に新しい夢や希望を持たせてくれています。さらに、専門の勉強に力を尽くし、日本文化を精一杯学びたいと思います。思いやりの心や、自分の持てる能力を生かして、周りの人々、学校、そして社会に対して自分の責任を尽くそうと思います。

高　爽（コウ・ソウ　日本語学科　2年次生）



奨学生に選ばれて、非常に嬉しかったです。最近、経済的に大変でアルバイトを増やさなければならない状態で、勉強時間が減り、「これでいいのか」「留学の意義があるのか」と悩みました。校友会から奨学金を貰い、勉強に集中できて嬉しいです。卒業後は、日本と韓国を繋ぐ貿易・空港関係に就職したいです。そのために学校の勉強だけでなく、第３言語としての中国語やＳＰＩの試験も頑張りたいと思っています。

李　炫憬（イ・ヒョンギョン　日本語学科　3年次生）



校友会外国人留学生給費奨学金を頂けて、たいへん嬉しく思います。誠にありがとうございます。来年はＩＥＬＴＳを受験し、宮沢賢治と夏目漱石全部の作品を読み研究したいと思います。将来は大学院に入学し、一生懸命語学と文化を学び、勉強に専念したいと思います。

陳　蕾（チン・レイ　中国語学科　4年次生）



今年は実家にいろいろな事がありましたが、奨学金を頂けるようになって私は日本での勉強に励むことができて、韓国の家族も喜んでました。また他の団体ではなく京都外国語大学を卒業なされた先輩の方々から頂いた奨学金なのでもっと意味のある奨学金だと思います。ありがとうございます！

金　玹我（キム・ヒョナ　日本語学科　4年次生）



校友会の奨学金を頂き、誠にありがとうございます。お陰で、生活に余裕が出来、勉強や就活に専念出来ました。両親も感激の涙と喜びの笑顔を見せてくれました。奨学金を貰えた事は、自分の努力の結果だと思います。これからは、社会人になりますが、京都外国語大学で学んだ知識や経験などを活かし、母校の誇りになるようにもっと頑張っていきたいと思います。

魯　寧（ロ・ネイ　日本語学科　4年次生）



今年の夏、校友会から奨学金をいただきました。誠にありがとうございました。
今年の春、うちのお婆さんが入院していました。この奨学金をもらうと、本当に助かりました。
就職活動をやっているので、校友会のおかげで、勉強と就職活動がうまく進んできました。

周　婕（シュウ・ショウ　日本語学科　4年次生）

●留学生別科





奨学金をいただき、本当にありがとうございます。これからも大学院入試のため、この奨学金を生かし、必要な研究書を購入して、一生懸命に勉強します。　**周　淑華**（シュウ・シュクカ　留学生別科卒）



奨学金をもらって本当に嬉しくて、今までの京都外国語大学での生活も楽しかったです。先生たちは優しいし、質問があったら外大の日本人の友達も手伝ってくれます。これからもよろしくお願いします、ありがとうございます！

盧　映婷（ル・インティン　留学生別科卒）

「輝く星となる」奨学生（平成27年度）



今回校友会の方々より奨学金を授与されることとなり、大変光栄に思います。今回頂く奨学金は語学検定を受けたり派遣留学の為に使用をし、今後も自分を高めていく環境作りに取り組んでいきたいと考えています。

神吉　湧也（英米語学科　3年次生）



今回この奨学金をいただけることは私にとって光栄の極みであり、現在まで送って来た学生生活が有意義なものであったという客観的な証拠でもあります。これに驕ることなく、常に向上心を胸に日々研鑽に励む所存です。

菊池　絢乃（英米語学科　3年次生）



この度は、輝く星となる学生として給費奨学生に選ばれたことを、大変光栄に思います。

私はイギリスの大学院に進学する予定にしているため、この奨学金を大学院の授業料として使わせていただきます。

阿武　美希（英米語学科　4年次生）



校友会給費奨学金を受け取ることができ大変嬉しく存じます。この度、本学博士前期課程の飛び級による受験を予定しており、頂いた奨学金はこれからラテンアメリカ研究への経費に当てたいと考えております。

山本　尋（異言語・文化専攻（言語文化コース）　1年次生）



今回奨学金を受けることができてとても嬉しいです。私はこの奨学金を、これからの人生に必要な教養を身につけるために使わせて頂きます。そして勉学に励み、学生生活を満喫したいと思います。

岡林　郁圭（キャリア英語科　2年次生）



校友会創立55周年総会のお知らせ

平成29年度、大学創立70周年記念の年、校友会は創立55周年の祝年を迎えます。そして、5年に一度の校友会総会の年にあたります。総会日時はまだ未定ですが、先輩方が生み育ててくださったこの校友会を、さらに活発で充実した楽しい会にする為に会員の皆様に集っていただく大切な総会です。是非ともご参加くださいますようお願いいたします。詳しいご案内は来年度のNo.32「ALUMNI NEWS」発送時に同封いたします。また、校友会ホームページでも、詳しい情報は決まり次第アップ致しますので、ご覧ください。どうぞ、宜しくお願いいたします。

55th Anniversary
The Alumni Association of
Kyoto University of Foreign Studies

校友会ホームページのご案内

校友会の活動などについては、ホームページをご覧ください。
http://www.kufs.ac.jp/koyukai/　京都外国語大学校友会　検索



在学生からのメッセージ



Message

重松　由樹

（英米語学科　３年次生）
マウントユニオン大学留学中（派遣留学）



マウントユニオン大学、インターナショナルディナーパーティーにて

この度は、本学から派遣留学という貴重な機会を得ることができ、文理を問わずアメリカで幅広く学んでおります。留学先でも模擬国連会議など国際イベントに積極的に参加しております。新天地で築く人間関係はまた面白く、留学は語学運用能力を高めるだけでなく、私たち学生にとって安易にメディア媒体による情報を鵜呑みにしないことの大切さ、真実を知るのに絶好の機会を与えてくれます。悪戦苦闘しながらも苦難を乗り越えることで獲得した自信は、一生の財産になるものと確信しております。このような貴重な機会をいただいたことに感謝するとともに、真の国際人と呼ばれるに相応しい品格と実行力を兼ね備えた日本と世界との架け橋になるような人材を目指すべく、今後も努力を惜しまず勇往邁進してまいります。



Message

朝岡　駿

（スペイン語学科　h27年度卒）



私は大学２年次から、「ラテンアメリカとの絆」というラテンアメリカ諸国（現在は主にニカラグアとペルー）の小学校を対象とした教育支援グループに参加していました。

これは、本学のスペイン語学科OBの方が代表取締役を務められるある企業のいわゆるCSR活動の１つで、企業の担当の方と学生たちで会議を開き、どのような教育支援物資を送るかを決めます。

ペルーへの１年間の派遣留学をした際には、現地の学校へ行き、支援物資を実際に手渡しました。その後も留学期間中は月に１、２回のペースで学校を訪れ、日本の文化の紹介をするなど子供たちと交流を続けました。

今年度は写真展を開いたり、小学校へ届けるために日本の絵本をスペイン語に翻訳したりするなど、例年に比べても積極的に活動を行いました。私は３月で卒業しますが、この本学らしい活動が今後も存続することを強く願っています。



Message

岩波　彩加

（フランス語学科　４年次生）

私は、この三年間の大学生活で様々な経験をし、自らの色を模索してきました。フランス語研究会（フラ研）に所属し、先輩や同期、後輩たちと共に暗唱大会等の活動を通し、フラ研の歴史を引き継いできました。中でも『語劇祭』では、語学の楽しさを改めて知るだけでなく、演劇の奥深さ、組織運営の難しさを学び、特別な経験をしました。役者として二度舞台に立ち、今まで感じたことのない高揚感を味わったことは、最良の思い出となり、私に大きな影響を与えました。卒業された先輩方は、京都外国語大学で見つけられた自らの色を大切に、これからの人生の中でより一層の彩りを見つけ、輝いていかれることと思います。これからのご活躍を心よりお祈り致します。



Message

古林　和

（ドイツ語学科　４年次生）

私は小さい頃から、水泳やフェンシングなどのスポーツでオリンピックを目指していました。２回生の時、語学力を伸ばすために１年間ドイツのマンハイム大学に留学しました。そこで多くのドイツ人や留学生と出会い、語学力を伸ばすだけでなく言語をツールとして、何をしていくのかということが大切だと気付きました。外大の理念である“PAX MUNDI PER LINGUAS”という言葉の意味を改めて実感しました。そして、言語を通じて、経営側からオリンピックやスポーツを支えられるようになりたいと思い、現在は経営学で大学院進学を目指しています。いつも目標を応援し、協力してくださる先生方や周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、今後も精進していきたいと思います。



Message

川上 ラファエル

（ブラジルポルトガル語学科　４年次生）

校友会の皆様、私はブラジルポルトガル語学科４年次生の川上ラファエルと申します。現在、ブラジルポルトガル語学科には日系ブラジル人の学生が各学年１割ほど学習しています。日本人とブラジル人の学生有志で「ヴィンクロ・ジ・ラチーノ（ラチーノとの絆）」というボランティア活動を行っています。

主な活動は３つあります。

１つ目は滋賀県にあるブラジル人学校の日本ラチーノ学院へ行き、日本語の授業の補助を行っています。どうすれば上手く教えられるのか日々工夫を重ねています。

２つ目は日本ラチーノ学院を卒業し、日本での進学を希望している生徒への進学相談、援助を行っています。この３年間で10名以上の日本ラチーノ学院の卒業生が京都外国語専門学校へ進学しました。

最後の３つ目は、こういった在日外国人の特に子どもたちの現状をより多くの方に知ってもらうためにシンポジウムを開催しています。今年度で第３回目を迎えることができました。

京都外国語大学の学生として日本と在日ブラジル人の間の架け橋になれるよう努力しています。



Message

下浦　紗綾

（中国語学科　h27年度卒）

私は今、京都外国語大学での学生生活にとても満足しています。最初は、趣味程度に考えていた中国語を、本気で習得したいと考えるようになり、おかげさまで派遣留学生として上海に半年間行かせていただきました。そこで学んだものは、中国語だけではありません。ひとりの人間として自立すること、様々な国籍の外国人の中で異文化を理解すること。自分自身が一番変わったと思う点は、積極的に行動できるようになったことです。帰国後はこの経験を活かし、留学を目指す学生にアドバイスをしたり、外大生と留学生が交流する機会を設けたりしました。様々な価値観を持つ方々と出会い、見える世界が広がり、社会人として羽ばたく準備ができました。今後は活躍されている卒業生の方々に追いつけるよう、頑張っていきます。



Message

宇都宮　彩

（日本語学科　h27年度卒）

私はよく周りの人から「日本語学科って何を勉強するの？」と言われてきました。入学当時はその質問に、はっきりと答えることができませんでした。

大学３年次にオランダへ派遣留学で行かせてもらえる機会を得て、たくさんの外国人に日本語を教えることができました。そこで家族や先生方、友達に支えられて今自分がこんなにも素晴らしい経験ができているのだなと感じました。留学だけではなく、京都外大で学んだことや感じたことは数え切れません。今では、「日本語学科って何を勉強するの？」と聞かれてもはっきり答えることができます。

今後は今までお世話になった方々に感謝し、恩返しできるように努力したいと思います。



Message

山口　綺良

（イタリア語学科　４年次生）

私にとっての、京都外国語大学での青春は語劇祭でした。出来る限りイタリア語に触れて楽しく勉強したいという思いから、イタリア語研究会に入部し、半世紀以上も続いている伝統ある語劇祭に、一年生の時は役者として舞台に立ち、二年生では劇の監督を務め、賞をいただくことが出来ました。劇を通して様々な言葉や表現を学ぶだけでなく、演じることでそれを観客へ伝えることは簡単ではありません。しかしイタリア語を知らない人にも、言葉の音を感じてもらうことで舞台に引き込むことが出来るということを肌で感じた時の感動はとても大きなものでした。





言語を学ぶことにおいて、伝わるという感動に勝るものはないと思っています。イタリア語を自分の言葉にするために、それをより良く伝えるためにも、これからも学び続ける所存です。



Message

川瀬　由希子

（国際教養学科　２年次生）

興味があることにはできる限り挑戦する。それが入学時に立てた目標です。それから早一年が経ちました。

たくさんの新しい挑戦の中でも、2015年４月25日に起こったネパール大地震への支援活動には、特に力を注ぎました。京都外国語大学には、ピカイチプロジェクトというものがあり、選ばれた団体には補助金などが与えられます。その制度を使って、友人と支援団体を立ち上げました。もちろん自分達だけでは分からないことばかりでした。すでに活動をされていた先輩方、先生方が助けて下さいました。そういった繋がりがあるところが、この大学のアットホームな理由だと思います。

他にも、模擬国連大会、７外大合同の通訳育成セミナーにも参加させていただきました。

残りの大学生活でも、チャンスを与えてもらえる京都外国語大学で経験を増やしていきたいです。

滋賀支部

支部長　木下輝明　s41年度スペイン語学科

■滋賀支部設立



Mother Lakeびわ湖のある滋賀支部は2015年10月3日、在住卒業生1952名の親睦交流組織として誕生しました。 2015年9月現在、地域の外国語教育に関わる卒業生も103名となっています。設立総会は各支部・本部・大学関係者50名の出席で盛大に開催出来ました。

支部は校友会会則第28条「本会に、各卒業年次1名又は2名の幹事を置くことができる。」に基づき、総会に出席された中から、支部活動に協力出来るという気持ちのある卒業生を学科学年幹事として登録していただき、役員・幹事18名で支部運営をスタートし、又引き続き幹事を募集していくことも確認しました。

2016年2月13日、支部拡大役員会（役員・幹事）14名の出席で開催。

次の3点が議論となった。

1. 卒業してから10年から20年大学に行っていないので、在校生の文化祭時期に合わせて、今年は支部役員で大学を訪問する。
2. 地域の外国語教育への貢献として、幼稚園・小中学校などへの継続的な語学力コミュニケーション能力向上支援などの具体策検討。
3. 地域の歴史文化伝統の継承と観光ボランティアガイド（外国語でも）の具体策検討。

校友会活動は、先祖・遺伝子・顔・ものの見方考え方が違う人間が同じテーブルにつき、お互いの存在価値を尊重しながら、母校を接点として助け合うことができる同窓会だからこそ、建学の精神である「言語を通して世界の平和を」という理念思考を現実化する事ができると確信しています。

沖縄支部

支部長　金城一晋　h14年度ブラジルポルトガル語学科

2016年5月21日（土）、ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューにて京都外国語大学校友会沖縄支部の設立総会・懇親会が行われました。

設立総会ではご出席くださった沖縄支部員の承認を得て、金城一晋支部長、住江淳司会計監査、松川裕子会計、石田達也書記の4名が役員に選任されました。その後の懇親会では大学から森田嘉一理事長・総長や森田豊子理事、下村秀則副学長、若林昭男法人部次長、川口榮一教授、岡本俊裕入試センター長、校友会本部からは島谷直見会長や赤﨑恒二郎副会長、山本正太書記、吉田英子常任幹事、竹原庸喬常任幹事、他支部からは4名の支部長・支部長代理、沖縄支部からは役員及び沖縄支部員を含め30名が出席しました。

日本国内で16番目の支部として誕生した沖縄支部には約65名の支部員が沖縄県内に在住しており、来年に本学創立70周年、校友会創立55周年を迎える、このような素晴らしい年に2016年会報誌「ALMUNI NEWS」へ掲載させていただく機会を設けて頂き、沖縄支部員一同、大変感銘を受けております。



昭和27年卒業生から平成26年卒業生まで年齢層の幅広いウチナーンチュの強い絆を生かした新生沖縄支部を温かく見守っていただき、これからもご支援ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

和歌山支部

支部長　佐武正章　s56年度英米語学科



私たち和歌山支部は、2011年６月に設立し６年目を迎えます。現在の会員数は約800人です。主な活動は、会員相互の親睦を図る文化事業や懇親会の企画と、ジョン・ケンドリック杯小中学生英語スピーチコンテストの実施です。私たちは、地元和歌山に愛着や誇りをもち、京都外国語大学・短期大学で培った『言語を通して世界の平和を』の精神と、支部設立時の熱き想いを胸に、相互に楽しみ協力し合って支部を発展させています。

東京支部

支部長　利根川正則　s51年度英米語学科

■東京支部ビジョン

「つなげる　つながる　卒業生の絆と外大文化」

校友会東京支部は1988年に産声をあげ、毎年７月第２土曜日に「関東地区卒業生の集い」と称して総会・懇親会を開催しています。今年は第28回目の集いを７月９日(土)、銀座の交詢社にて開催いたします。昨年より「若者会」も発足し、新旧が織りなす支部メンバーが卒業生同士の絆を結ぶブリッジ役を果たし、連帯の輪を広げています。大学と校友会は車の両輪という考えのもと、東京支部は力強くその両輪の後押しができればと思います。　http://kufs-tokyo.com



福井支部

支部長　中野多郎右エ門　s44年度英米語学科



■「2015福井国際フェスティバル」及び「REINAN国際交流のつどい」で支部会員が「英語紙芝居」等を実施

福井支部では一昨年に引き続き昨年10月25日（日）に福井県国際交流会館で開催された「2015福井国際フェスティバル」で、さらに昨年からは11月15日（日）に福井県敦賀市の「プラザ萬象」で開催された「REINAN国際交流のつどい」でも「京都外大校友会福井支部コーナー」を開設し、支部会員による「英語紙芝居」「世界のあいさつ」「世界の国名あてクイズ」などを実施し、訪れた人たちの大好評を得て会場の注目を集め、京都外大を大いにアピールしました。

徳島支部

支部長　野村誠也　s48年度英米語学科

平成27年８月14日（金）午後、ホテルクレメント徳島にて第23回総会・懇親会を開催しました。県外からのお客様26人を含め総勢55人の参加者は、懐かしい話と美味しいお料理で楽しい時間を過ごしました。毎年、夕方には阿波踊りの「京都外国語大学連」を結成し「藝茶楽連」の協力で、夕暮れの徳島市内演舞場へと躍り込んで行きます。「踊る阿呆に、見る阿呆。同じ阿呆なら、踊らなそんそん…」の心意気で、踊る仲間を募集しています。



兵庫支部

支部長　松下　衛　s38年度英米語学科



京都外国語大学、短期大学の今春卒業の皆様、おめでとうございます。いよいよ社会人として船出をされますね。長い航海の中では、晴天あり、嵐ありで大変でしょうが、当初の目的通りの航海が出来るように心より祈念いたします。さて兵庫支部は平成25年11月に誕生をしたまだ新しい支部です。「親睦と和」をモットーとして、年1回の総会と懇親会をしており、且つ大学のクラブ活動を支援する目的で、クラブの皆様が日頃の成果をご披露頂く場を設けています。平成25年は能楽部、平成26年はフラメンコ部に出演をしていただきました。兵庫県に在住で授業を受けられた皆様には、御案内が届きますが、是非年に1回は集まって懇親を深めようではありませんか。同期生の皆様にお声をかけて頂き参加してください。平成28年の総会・懇親会は、11月27日（日）神戸メリケンパークオリエンタルホテルで開催される予定です。当初20日に設定を致しましたが、神戸マラソンと重なったために変更になりました。お待ちいたしております。

福岡支部

支部長　小林利夫　s56年度英米語学科

平成27年12月13日（日）、福岡市中央区天神で講演会、総会及び懇親会を実施致しました。講演会では、京都外大の倉田誠教授による「一歩進んだ英文法と映画の英語」というタイトルで、身近な映画を題材にわかりやすく英文法を知るきっかけができました。また、島谷校友会会長を始め大学関係者の方々もおいでになり新たな出会い、懐かしい出会いを持つことができ今後の福岡支部の活動に励みになりました。



Club Hat's

会　長　垣見和人　h3年度中国語学科



クラブハッツ（Club HAT's）の名称は観光関連業界の幹をなすホテル、エアライン、旅行会社の頭文字をとったもので、まさしくこの業界で働くOB・OG、老若男女の集いの場です。定例の懇親会のほか、若い世代だけの交流会などを開催し、業界内での親睦及び人脈形成の場として有意義な活動を行っています。

“観光関連産業で働いている”、これがクラブハッツへの唯一の参加資格です。皆様のご参加をお待ちしています。

教志会

会　長　平井幸郎　s38年度英米語学科

■「英語授業実践報告・研究会」実施報告



「授業の改善・工夫を求めて」をテーマに母校で開催、約50名が熱心に研究協議に参加。杉本義美教授の「英語授業の常識・非常識？」と題する講演の後、「小学校における英語教育の現状」（大阪・島本・原山太郎先生）、「生徒に自信をつけさす学習法」（奈良・香芝・大澤伸好先生）、「高校教育の変化」（京外大西・三宅辰哉先生）が発表された。校友会役員激励参加のもと、懇親会では、田中議員や京極名誉教授のスピーチも拝聴。

小中高の実践発表と杉本・相川真佐夫両教授の指導助言等、校種を超えた参加者にとって誠に有意義かつ楽しい一日でありました。

上海支部

内濱幸恵　h２年度中国語学科





例会を奇数月に１回、上海市内のレストランにて行っています。登録メンバーは50名足らずなのに毎回20～60代の15名前後が出席！　校友会支部の中でも、邦人が多く住む上海のコミュニティの中でもこの出席率はトップレベルでしょう。毎回のように帰国される方あり、新たに来られた方あり、上海ならではの賑やかで、外大ならではの和気あいあいとした一期一会を楽しんでいます。

韓国支部

前支部長　寺井妃呂美　h7年度日本語学科

2015年11月21日、４度目の韓国支部総会がソウルで開催されました。プルコギが有名な韓国料理のお店に総勢18人が集まり、歓談の一時をもつことができました。韓国支部は、会員のほとんどが留学生として外大を卒業した方たちです。2012年の設立以来毎年、日本から帰国したばかりの卒業生が入会してくれています。韓国支部も今年で５周年。支部長には新しく日本語学科卒の康淑姫（カンスクヒ）さんが就任しました。今後益々、明るく楽しく華やかな雰囲気の支部になるよう、盛り上げていきたいと思っています。



メキシコ支部

川崎智子　h10年度イスパニア語学科



2015年11月22日、日墨レストランにて今年２回目の親睦会が行われました。

今回の参加者は、メキシコシティ在住の卒業生８名とお子様３名の他、夏に来墨された仮屋ご夫妻（93、94年卒）も加わり、13名での賑やかな食事会となりました。自己紹介から始まり、大学時代の思い出、メキシコでの生活など様々な話題が上がりました。

このメキシコの地で、会を通して大学のＯＢに出会える機会に感謝し、繋がりを大事にしていきたいです。本年は６月26日に開催し、年に２回ペースの親睦会を目標にしています。

ブラジル支部

支部長　狩野知保　h1年度ブラジルポルトガル語学科

ブラジルでは、日本から一番離れた駐在地で励む仲間が、世代を超え、共に励み支えあえる存在であるよう、随時支部会を開催しております。

サンパウロが中心の為、他都市に駐在する仲間とはなかなか懇親を深める事が難しいですが、今年はオリンピックがリオデジャネイロで開催されますので、是非リオデジャネイロに住む仲間との交流も新たに企画し、より一層支部を盛り上げてまいりたいと思っております。



剣道部

剣友会会長　西堀清作　s45年度フランス語学科



昨年12月13日、毎年恒例の関西学連剣友剣道大会が舞洲の体育館でありました。

主に関西在住OBの試合です。各大学の現役学生も手伝いに来る大きな大会です。試合後は現役・OBの懇親会を梅田で行っています。20歳未満の学生は、アルコール抜きで、もっぱら酔っているのはOBで、学生はただ黙々と食べているというパターンです。時代の移り変わりを感じます。方丈記に「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず」大学という場所が鴨川なら、さしずめ我々は流水なんだと思います。毎年この行事で一年間の反省？と来年の目標を確認して終わります。

海外事情研究会

引地正之　s41年度英米語学科

海外事情研究会OB会は平成27年5月23日（土）、京都外国語大学国際交流会館に於いて学移連OB会西日本支部と共催で、日本ラチーノ学院に於ける日系ブラジル人子弟の日本語教育に関するセミナーを開催しました。

セミナーには松田学長、多田一般財団法人日伯協会副理事長、中川日本ラチーノ学院理事長、山岸滋賀県観光交流局国際室主幹、瀧澤東近江市企画課長、國安海外事情研究会顧問教授など来賓の方々をお招きして、学移連OB会西日本支部のメンバーやカイオ上村ラチーノ学院校長、山崎京都外国語学校講師等の方々が発表し、シンポジウムでは海外事情研究会の学生もボランティア経験を踏まえて発表しました。



ソフトテニス部

OB会副会長　中村孝夫　s40年度英米語学科



ソフトテニス部OB会の運営と総会につき報告いたします。運営は会則によりその目的・事業内容等々を定め、事業年度は毎年4月～翌年3月と致しております。

総会は毎年5月に開催し昨年度は5月24日(日)に親睦テニス会、懇親会と合わせて行い、現役との交流テニス会では久しぶりに全員心地よい汗を流し、夜の現役参加の懇親会では昼と違った姿で、会員相互の親睦と現役部員との交流を図ることが出来ました。

硬式庭球部

山本正太　h14年度英米語学科

現在、現役生は17名で活動しています。留学する学生が多く、途中で退部したり、休部したりと部活動ばかりする時代ではなくなったようです。その為、本年からOB・OGとして現役生への支援を強化したいと思います。部活動に参加し指導強化や経費等の支援をしたいと思います。是非OB・OGの皆様、現役生を支援し、私達が青春を過ごした硬式庭球部を後世に繋げていきたいと思いますので、ご協力をお願い致します。部への参加や連絡は山本正太090-9880-4408にお願いします。夏には外大にてOB戦を毎年開催しております。



卓球部

OB会会長　中辻政明　s43年度英米語学科



７回目のOB総会を３年連続、滋賀県高島市の白浜荘で平成27年６月６日～７日、一泊二日で開催しました。

当日のOB親睦試合シングルス戦では、50歳～70歳代の老若男女の好プレー・珍プレーが続出。夜の総会・懇親会では学生時代の思い出話や身の上話で盛り上がり、若さ・勢いは収まらず、場所を移してのカラオケ大会では、大いに歌い初日は終了。翌日のダブルス戦では愉快なプレーが続出し、２日間、心地よい汗と楽しい酒と会話で怪我もなく無事に総会を終えることができました。ＯＢ総会は毎年行いますので、宜しくお願いします。

空手道部

岩﨑嘉男　h7年度ドイツ語学科

2015年6月13日(土)に島谷直見校友会会長の御臨席の下、母校：京都外国語大学11号館２階ラウンジにて平成27年度OB総会を開催し、現役部員を含む総勢23名が世代を超え親睦を深め合いました。

世界中で通じる「KARATE」は日本発祥で、2020年東京五輪の正式種目に内定しており、１億人以上の競技者と加盟190ヵ国・地域を超える世界連盟組織を持つ国際スポーツです。

「京都」の「外国語大学」で「空手道」をする事は、非常に高い価値が有ります。是非一度、空手道部道場を御一見下さい。



自然科学研究会

OB会会長　橿本五代　s49年度英米語学科



2015年6月13日、ホテル日航大阪・桃李にて、18時からOB総会及び懇親会が開催されました。総会では、会計報告・監査報告・OB会会長新任挨拶の議事が進行されました。その後の懇親会では、母校を気遣うやさしい諸先輩方々と旧交を温め、OB会の活性化・新自然科学研究会再興祈願・OB会の母校に対する役割について熱く議論されました。

総会は活況の中、来年度の再会を約して散会されました。

ＦＧＣ

髙橋榮一　s45年度英米語学科

創部55周年記念現役・OB・OG交流会を平成27年6月28日（日）、11号館ラウンジにて立食パーティー形式で開催しました。現役の部長や部員、創部時のOB、沖縄・関東方面からのOB・OGを含め50名以上参加がありました。食事の後、日常の活動内容の紹介や現役とOBの英会話トーク、又就活相談もあり楽しい交流会でありました。今回参加されなかったOB・OGの皆さまも是非交流会にご参加ください。お会いできることを現役の部員も楽しみにしております。



・OB会会長　藤田卓　・副会長　林新太郎　・副会長　羽場静雄

能楽部

OB会会長　島谷直見　s51年度英米語学科



平成27年12月6日（日）、河村能舞台にて能楽部創部55周年記念OB会共催「外大能」が催されました。現役による能「海士」舞囃子3番、仕舞3番とOB仕舞10番の番組でした。能「海士」はOG地謡が参加し、9月より毎週、現役とOGとの合同練習を重ねて来ました。

能楽部OB会は謡初会、OB現役交歓会、ゆかた会、OB総会懇親会、そして「外大能」と年間を通して現役とOBとの交流を深めています。OBだけのお稽古会も毎月行っています。

ローターアクトクラブ

OB・OG会会長　神谷昌明　s55年度英米語学科

平成27年10月24日（土）、京都外大にて、第3回ローターアクトクラブOB・OG会（総会及び懇親会）を開催しました。

京都西RC会員である横山卓哉京都外大法人本部長、島谷直見校友会長にも参加していただき、大いに親交を深めることができました。

ブログに引き続き、facebook京都外大RACの絆（非公開グループ）を開設しました。メンバーを追加し交流を深めていきましょう。

（第4回OB・OG会　平成29年秋季に開催予定）



貿易研究会

OB会会長　植松宏行　s43年度英米語学科



平成27年10月31日（土）、アパホテル〈京都祇園〉において第6回貿易研究会OB・OG会を実施しました。世情や加齢等で出席者減少の中、多くのOBが出席。盛大な会となりました。部員勧誘・活動風景・合宿・仲間との交流等、当時の白黒写真が会を盛り上げてくれました。

また各自の近況報告では、仕事・家族・年金・健康問題等、昔と変わらない個性溢れる口調で、懐かしい思いでした。その後、顧問の原先生が登場。その老練なマジックショーに、会は否応無く最高潮に達しました。皆それぞれの思い出を手土産に、二次会の流れとなりました。 特別参加の原顧問、校友会桟敷副会長、ご出席有難う御座いました。来年は平成28年10月29日です。再会を楽しみに。

スカウトクラブ

OB会会長　植木省道　s55年度スペイン語学科

クラブ創立55周年に当たり平成27年11月15日、森田嘉一理事長・総長はじめ多数のご来賓をお迎えし、50名を超える参加者による記念式典および懇親会が執り行われ、当OB会より総勢14名が参加しました。

本式典・懇親会終了後、引続きOB会総会を開催、赤﨑恒二郎（前）OB会会長より改めて主役現役幹部各位の紹介と一年余に及ぶ尽力への感謝が述べられ、合わせて当OB会の支援および協賛の経緯報告がなされました。

また、当会役員改選の議案は承認され、会長および事務局の新役員が選任されました。



陸上競技部

代表幹事　藤田和孝　s44年度英米語学科



2015年11月24日（火）18時より大阪市内「道頓堀ホテル」にてOB・OG会を開催しました。久し振りに会う平田（旧姓黒崎）先生、先輩、後輩と学生時代に戻ったような、懐かしい会話で楽しい時を過ごす事が出来、盛り上がりました。今後もOB・OG会の活動に一人でも多くの方が参加出来る様な場に仕上げたいと思っております。現役学生との交流の持ち方などを話し合いました。OB・OG会の諸氏の連絡をお待ちしております。　FAX：075-881-7638（藤田和孝）

フランス語学科卒業の皆様へ

フランス語学科は今年、創設50周年という節目の年を迎えました。

これを記念してフランス語学科卒業生の会「フランス会」では11月6日（日）に記念式典並びに総会を開催し、そのあと会場をリブレに移して祝賀パーティーを行います。

詳しいご案内は改めてお送りしますが、前回お越しいただいた方はもちろん、今回が初めてという方も同級生をお誘いあわせの上、ぜひ懐かしのキャンパスに足を運んでください。役員一同、心よりお待ちしております。

大学創立70周年と新4号館改築のお知らせ

本学園は、2017年（平成29年）に創立70周年を迎えることとなり、在学生は約4,800人に、卒業・修了生は約52,000人になりました。これも偏に卒業生の心温まるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、このたび記念事業の一環として地上6階建、延床面積5,000㎡の新4号館を新改築する運びとなりました。4号館には、外国語自律学習支援室（NINJA）やラーニングコモンズを配置し、また、留学生との交流を図ることができるスペースも配置するなど、象徴的な建物とするべく計画を進めています。竣工は、2017年（平成29年）3月予定です。



卒業生の皆様方には、「学園創立70周年記念事業募金」のご案内を送付させていただいておりますが、お気持ちで結構でございますので、何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

熊本地震義援金送付のお知らせ

平成28年4月14日に発生しました熊本地震では、沢山の尊い人命が失われ、本学の在学生、校友会員を含め、大勢の方々が被災されました。

校友会より、気持ちばかりの義援金を熊本県の「平成28年熊本地震義援金」の窓口に送付致しました。熊本地方の皆様の1日も早い復興をお祈り致します。

（会長　島谷直見）

第28回総長杯ゴルフコンペに参加して

恒例の総長杯ゴルフコンペが、12月23日、新大阪ゴルフクラブで開催され、出口修氏が優勝、準優勝は森本博信氏、３位が畑中治夫氏、37年度卒のオジン３人が揃って入賞されました。春の校友会会長杯と合わせ、年２回の校友会開催ゴルフコンペで、今回が第28回目の総長杯でした。

年末開催となり、15名のエントリーが急用で13名になり、女性の参加もなく、些か寂しいコンペになりましたが、そこは中身でカバー。在学中の想い出、卒業生達の消息などで話が弾み、盛り沢山の協賛賞品もあり、大いに盛り上がった一日でした。



次回、５月の会長杯には、オジンパワーに加えて、若手並びに女性の参加が期待されます。

（田邉　肇　s38年度英米語学科）

第57回外大祭模擬店報告














平成27年10月31日(土)・11月１日(日)に第57回外大祭が開催され、校友会は２日目の11月１日に参加させていただきました。

毎年恒例となりつつある「アメ玉つかみ」をはじめ、校友会グッズ販売やブースを開放して自由に交流を図れる「憩いの場」を設置し、在校生はもちろんのこと一般のお客様、卒業生の皆さまにも楽しんでもらえる企画をご用意いたしました。当日は天候にも恵まれ、校友会ブースだけでなく他のブースにも多くのお客様が来られていて、外大祭そのものが大いに賑わっておりました。

「校友会ブースは、次はいったい何をしてくれるんだろう」と思っていただけるように、母校を盛り上げる一助となるよう、一同頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

今年の外大祭は11月４日（金）・５日（土）に開催されます。校友会の参加は、11月５日（土）の予定です。



（常任幹事・事業委員長　竹原庸喬　h21年度ドイツ語学科）

平成27年度　校友会事業報告、会計報告

主な行事

5月15日㈮	第10回会長杯ゴルフコンペ〈宝塚高原ゴルフクラブ〉
5月30日㈯	大学との交流会〈京都ブライトンホテル〉
6月　8日㈪	外国人留学生奨学金授与式（外国語学部）
11月　1日㈰	外大祭　模擬店出店
11月　9日㈪	外国人留学生奨学金授与式（留学生別科）
12月23日㈬・祝	第28回総長杯ゴルフコンペ〈新大阪ゴルフクラブ〉
■ H28年	
1月18日㈪	「輝く星となる学生」奨学金授与式
1月30日㈯	大学との新年会〈京都ホテルオークラ〉

※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

支部総会・懇親会等

京滋支部	4月　5日㈰	春の文化的行事 「学園創立者墓参・仁和寺拝観」
和歌山支部	7月　5日㈰	総会・音楽鑑賞・懇親会〈デサフィナード〉
東京支部	7月11日㈯	第27回総会〈渋谷TOKYO MAIN DINING〉
教志会	7月19日㈰	英語授業実践報告・研修会〈大学内〉
福井支部	8月　9日㈰	第3回総会〈福井アカデミアホテル〉
徳島支部	8月14日㈮	第23回総会・第21回外大連 〈ホテルクレメント徳島〉
滋賀支部	10月　3日㈯	設立総会・懇親会〈ロイヤルオークホテル〉
Club HAT's	10月　8日㈭	第23回研修親睦総会〈アクイユ〉
Club HAT's	10月24日㈯	就職セミナー〈大学内〉
福井支部	10月25日㈰	福井国際フェスティバル 〈福井県国際交流会館〉
上海支部	11月　8日㈰	総会・懇親会
兵庫支部	11月15日㈰	第3回総会・記念公演・懇親会 〈神戸メリケンパークオリエンタルホテル〉
韓国支部	11月21日㈯	総会・懇親会
和歌山支部	12月　6日㈰	第22回ジョン・ケンドリック杯 スピーチコンテスト 〈和歌山中央コミュニティーセンター〉
福岡支部	12月13日㈰	英語教育講演会・総会・懇親会 〈西鉄イン福岡（アクロス福岡前）〉
■ H28年		
大阪支部	2月14日㈰	新年互礼会〈グランキューブ大阪〉

在学生との交流

5月　1日㈮	スポーツフェスティバル
1日㈮	英志会（京都外国語短期大学）主催　新入生歓迎 アクティビティ・懇親会
6月　6日㈯	第29回六月祭
10月24日㈯	オクトーバーフェスト

平成28年度　校友会事業計画 (平成28年4月末現在)

4月　1日㈮	入学式（大学・短期大学）
2日㈯	入学式（大学院）
5月　7日㈯	京都支部　春の文化的行事 「源氏物語　紫式部講演会」〈廬山寺〉
20日㈮	会長杯ゴルフコンペ〈山の原ゴルフクラブ〉
21日㈯	沖縄支部設立総会・懇親会 〈ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー〉
6月11日㈯	韓国支部総会〈仁寺洞 韓定食一村（촌）〉
26日㈰	和歌山支部総会・懇親会〈大学内「コンパーニョ」〉
27日㈪	外国人留学生奨学金授与式（外国語学部・留学生別科）
7月　9日㈯	東京支部総会・懇親会〈交詢社倶楽部〉
30日㈯	鹿児島支部総会・懇親会
8月　7日㈰	第4回福井支部総会・懇親会〈福井フェニックスホテル〉
14日㈰	徳島支部　平成28年度総会・懇親会・阿波踊り 〈ホテルクレメント徳島〉
20日㈯	富山支部総会・懇親会〈自遊館〉
17日㈯	9月学位記授与式（大学院・大学・短期大学）
10月15日㈯	石川支部総会・懇親会
16日㈰	福井支部　REINAN福井国際交流のつどい 〈福井県国際交流嶺南センター〉
23日㈰	福井支部　福井国際フェスティバル 〈福井県国際交流会館〉
29日㈯	高知支部　総会・懇親会〈高知パレスホテル「ミューズ」〉
11月　5日㈯	外大祭模擬店出店
12日㈯	Club HAT's　就職セミナー〈大学内〉
27日㈰	兵庫支部28年度総会・懇親会 〈神戸メリケンパークオリエンタルホテル〉
27日㈰	教志会　英語教育実践報告研究会〈12号館リブレ〉
12月11日㈰	和歌山支部　ジョンケンドリック杯スピーチコンテスト〈田辺市立図書館2階「たなべる」大会議室〉
H29年	
3月15日㈬	学位記授与式（大学院）
20日㈪・㈷	学位記授与式（大学・短期大学）

※事業計画は都合により変更される場合があります。
※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

クラブ・学科OB会 (平成28年4月末現在)

[卓球部第8回OB総会]6月11日㈯・12日㈰〈琵琶湖畔「白浜荘」〉

[自然科学研究会OB会総会・懇親会]7月2日㈯〈大傳月軒〉

[海外事情研究会OB会・学移連OB会全国大会]7月3日㈰〈大学内〉

[空手道部OB会総会]7月9日㈯〈11号館2階　ラウンジ〉

[混声合唱団ソレイユOB総会・懇親会]
7月24日㈰〈京都ロイヤルホテル＆スパ〉

[能楽部ゆかた会・OB総会懇親会]9月4日㈰〈ホテル杉長〉

[フランス語学科創設50周年記念式典・総会]11月6日㈰〈大学内〉

[外大能]12月10日㈯〈河村能舞台〉

※詳細は各OB会にお問い合わせください。HPでもご案内しています。

在学生との交流 (平成28年4月末現在)

5月15日㈰	英志会（京都外国語短期大学） 主催　新入生歓迎　アクティビティ・懇親会
6月　4日㈯	第30回六月祭
10月11日㈫	スポーツフェスティバル

校友会役員

会　長　島谷　直見（s51A）
副会長　赤﨑恒二郎（s45A）
副会長　棧敷　雄二（s48A）
書　記　中村　芳二（s43A）
書　記　山田良至子（s44F）
書　記　山本　正太（h14A）
会　計　藤本　道治（s45A）
会　計　清滝さち子（s51A）
監査役　中口　泰幸（s45A）
監査役　山本　勉（s46F）
監査役　長者　善高（大学事務局長）

常任幹事

有本　欽哉（s38A）
木下　輝明（s41E）
小山芙沙子（s43A）
相川　賢司（s45A）
浅井　仁一（s45E）
小林　弘明（s50A）
皆黒　和明（s51A）
地紙　恵子（s52I）
福本　智（s56A）
木下みゆき（s56H）
吉田　英子（s63A）
岩﨑　嘉男（h07G）
織田三津雄（h15A）
田邉　肇（s38A）
湯口　信壽（s42A）
中辻　政明（s43A）
髙橋　榮一（s45A）
北田　繁（s46A）
利根川正則（s51A）
宮本　省司（s51A）
杉本　博司（s53A）
梅澤　昌嗣（s56F）
池田　稔（s61I）
髙居　佐紀（h02F）
伊倉　洋平（h11A）
竹原　庸喬（h21G）

校友会支部連絡先（国内支部）

※個人情報につき取扱いには十分ご注意ください。

平成28年6月末現在

東京支部	支部長	利根川 正則	090-3572-9564
大阪支部	支部長	湯口　信壽	072-641-8007
京都支部	支部長	古澤　昭人	075-722-7162
徳島支部	支部長	野村　誠也	0884-22-2552
富山支部	支部長	杉本　博司	080-3744-2816
石川支部	支部長	安田　嘉昌	0761-24-6670
高知支部	支部長	柴岡　和生	088-841-1939
福岡支部	支部長	小林　利夫	092-844-3330
鹿児島支部	支部長	鬼丸　宏	099-243-5331
和歌山支部	支部長	佐武　正章	073-922-2311
福井支部	支部長	中野多郎右エ門	0776-53-2765
兵庫支部	支部長	松下　衛	078-731-5220
滋賀支部	支部長	木下　輝明	090-1488-5338
沖縄支部	支部長	金城　一晋	080-8386-0313
Club HAT's	会長	垣見　和人	090-9696-1618
教志会	会長	平井　幸郎	090-5623-2850

京都外国語大学校友会会報

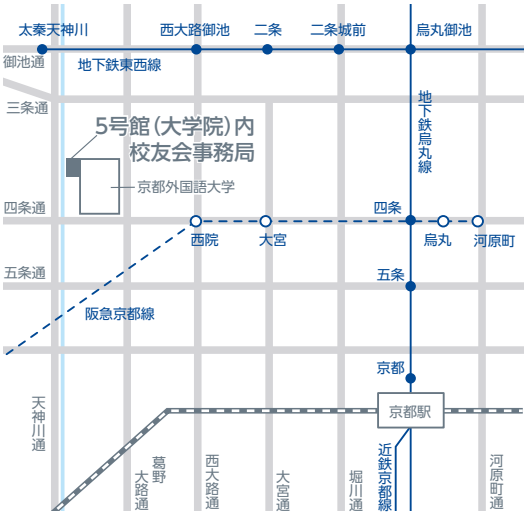
ALUMNI NEWS No.31

平成28年(2016年)７月１日発行

発行人＝京都外国語大学校友会　会長　島谷直見

発行所＝京都外国語大学校友会

編　集＝京都外国語大学校友会　広報委員会



京都外国語大学校友会

〒615-8558　京都市右京区西院笠目町6番地

TEL:075-322-6057　FAX:075-322-6220

http://www.kufs.ac.jp/koyukai　e-mail:koyukai@kufs.ac.jp

●校友会ホームページをご覧ください。

京都外国語大学校友会　検索

